

「まちをおもしろくする」

シビック・プライド

YOMIKO

2011.02.04

まちをおもしろくするものたち

面白い風景

面白いイベント

面白い商業施設

面白い建物

面白い看板

面白い人たち

面白い音楽

面白い...

でも、気づかないコトって多い

色々な
まちの変化に
気づいたり

積極的に
まちに関わろうと
してみたり

毎日、まちの中に
新しい発見が
あったり

まちの楽しさを
ブログに書いたり
人に伝えたり

まちを好きになると
きっと、まちはもっとおもしろくなる



まちは、もっと市民と
コミュニケーションすることが大切

Civic
Pride

「シビックプライド」

都市のコミュニケーションをデザインする。

シビックプライドとは？

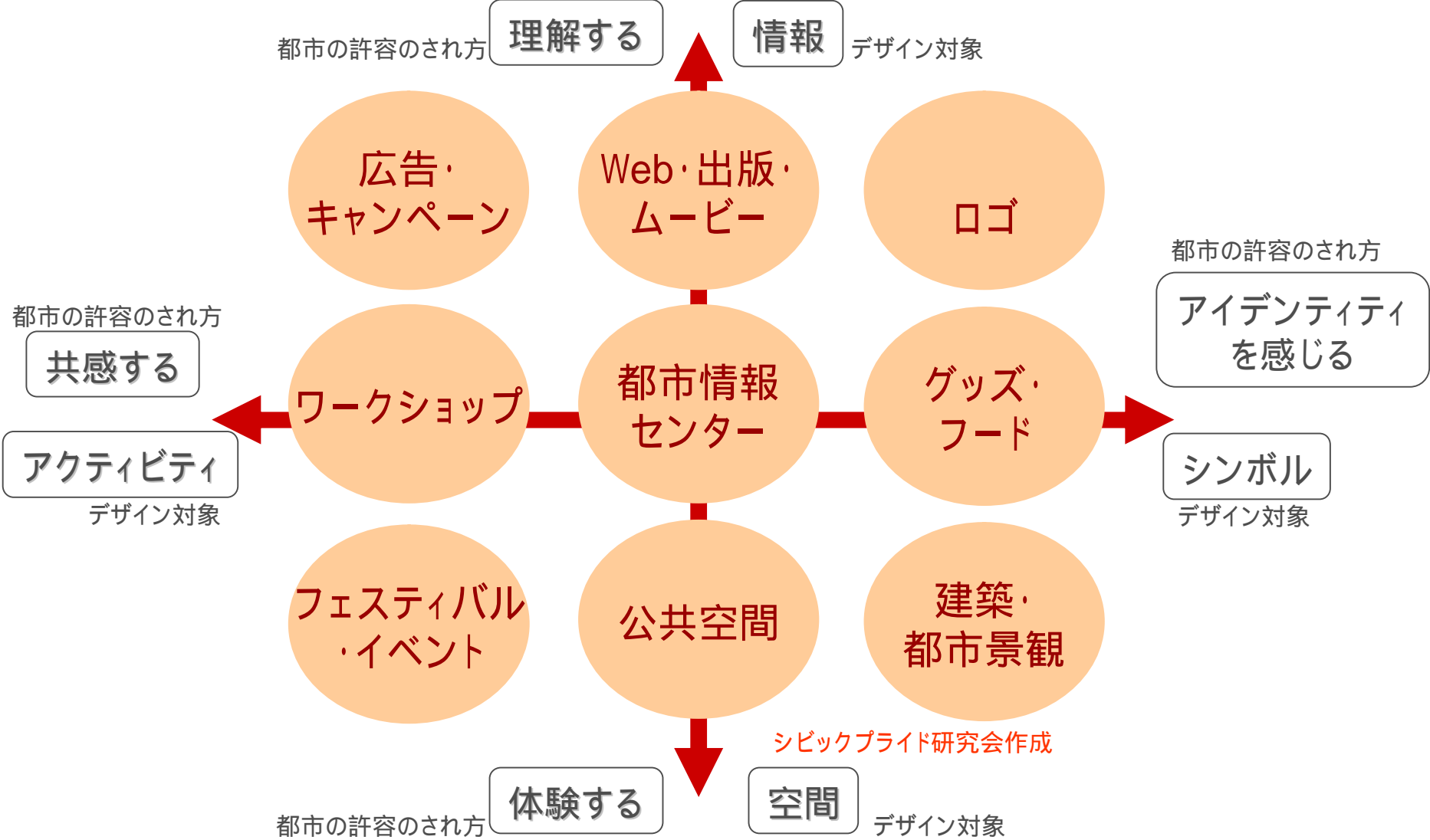
都市に関係する人々

(そこで住んだり、働いたり、遊びにきたりする人たちが)、
その都市に対してもつ誇りや愛着を
シビック・プライドといいます。

ノスタルジアではなく、
都市をより良い場所にするために
自分自身が関わっているという
当事者意識に基づく自負心です。

まちのコミュニケーション・ポイント

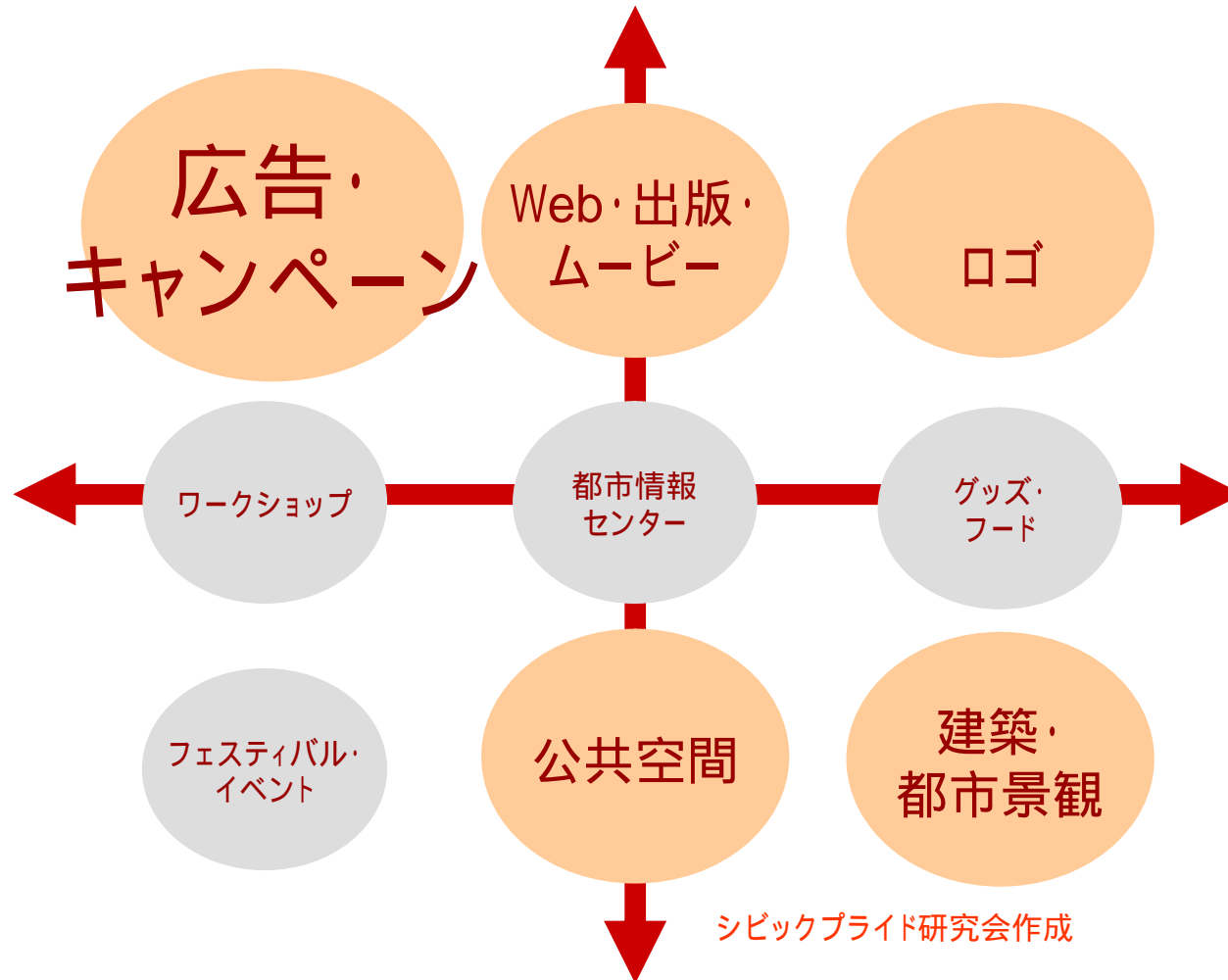
communication points



海外の事例

Barcelona

バルセロナ(スペイン)



シビックプライド研究会作成

Barcelona (Spain)

バルセロナ市コミュニケーション局は市民に呼びかける様々なキャンペーンと市民意識調査を行っている。

始めは、フランコの独裁政権から解放された80～90年代。オリンピックに向けて市民が一丸となって進んでいたときに、外に向かって開かれたイメージを元にロゴを作る。

2000年頃から始めた「B」キャンペーン(下記)。
「相手が文句を言っても受入れる寛容性を持つ」、
「市は準備をします。それを違反しないで遵守し、利用してください」という意味が込められている。





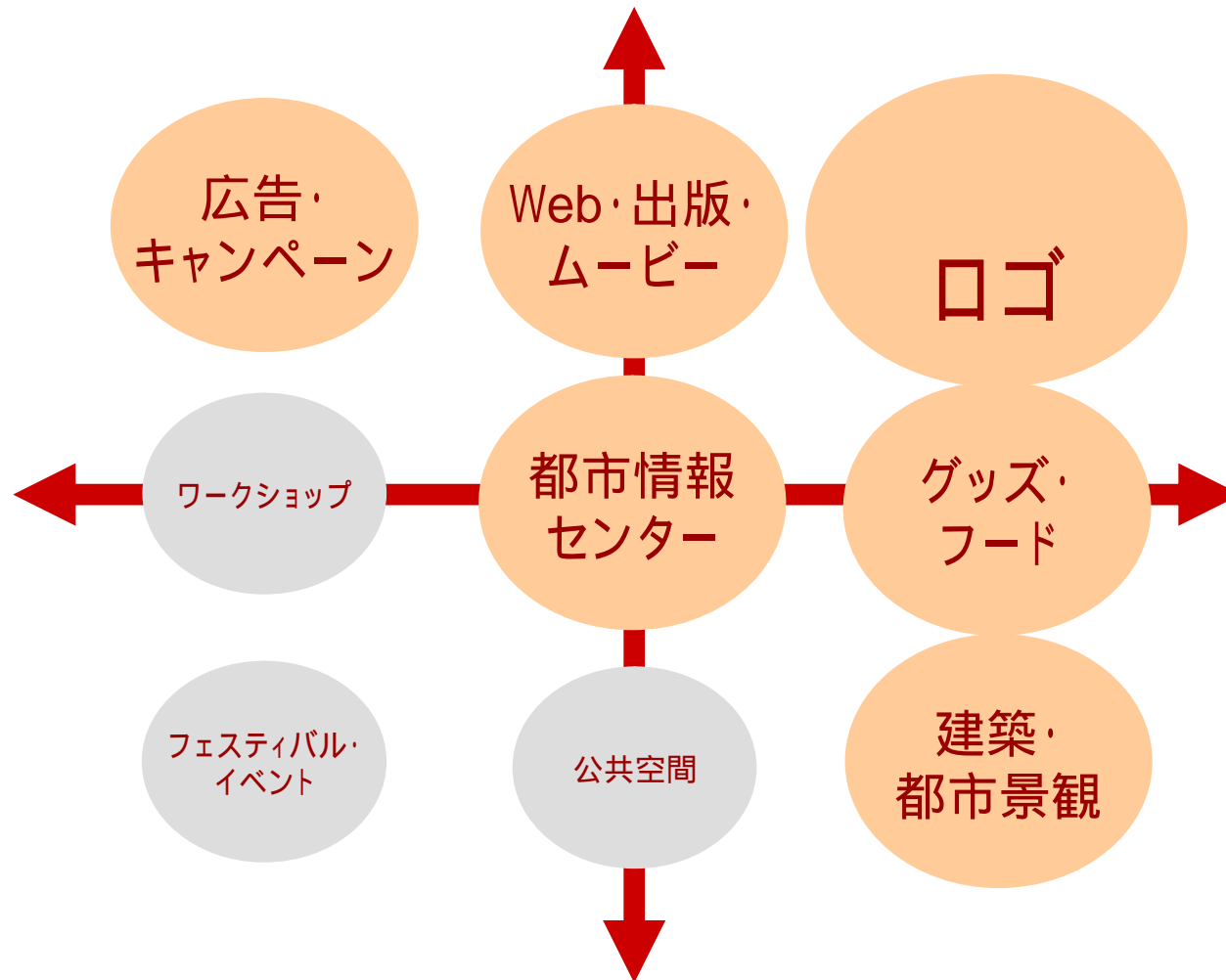
The graphic design features a large, teal-colored letter "B" centered on a white background. A teal smiley face is drawn over the "B", with the letter itself acting as the mouth. Below the "B" is the text "BIBLIOTECA PER IL MONDO DEL LIBRO" in a small, teal, sans-serif font. In the bottom right corner, there is a teal footer containing a logo and the text "E".

2005年から新しくなった基幹キャンペーンが
『Barcelona Batega!』(バルセロナがドキドキする!)。
「あなた(市民)がドキドキすると私(バルセロナ)もドキドキする。
一緒に都市をつくっていきましょう!」
「バルセロナは夢を実現できるまち。バルセロナで夢を叶えていきましょう!」
と呼びかけ、市民を鼓舞している。



Amsterdam

アムステルダム(オランダ)



Amsterdam (the Netherlands)

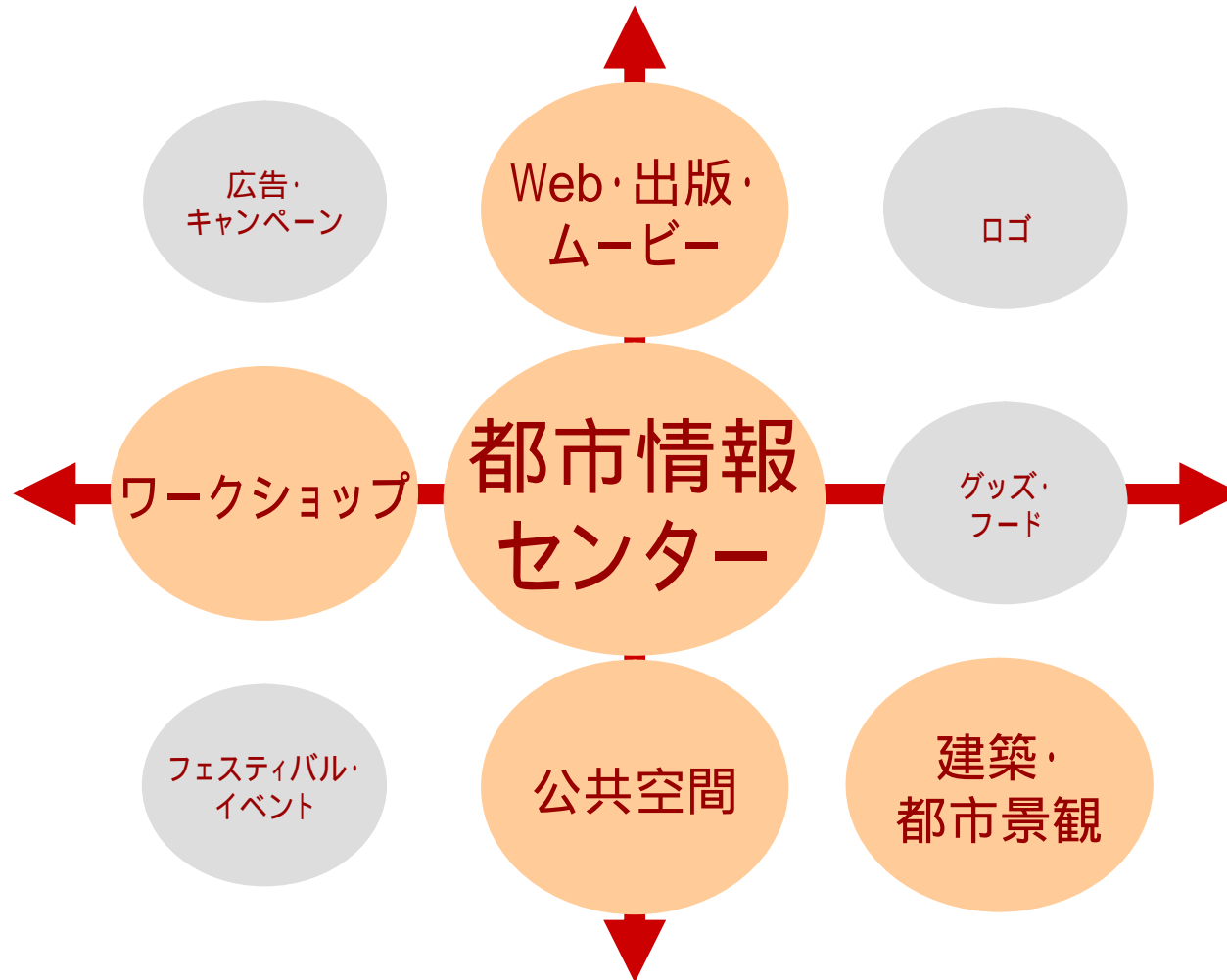
アムステルダムの都市アイデンティティは、市民が「私自身がアムステルダムである」と言うところから始まり、住みたくなる町、働きたくなる町、学びたくなる町を目指す。ロゴのさまざまな展開で「私の都市を持ち歩く」を実現。





Hamburg

ハンブルク(ドイツ)



Hafencity, Hamburg (Germany)

写真: ボイラー倉庫、模型、カフェ、開発全体図

エルベ川沿いの155ヘクタールにおよぶ再開発地区がハーフェンシティ。衰退した港湾地区を、居住、業務、文化、オープンスペースとして再開発。

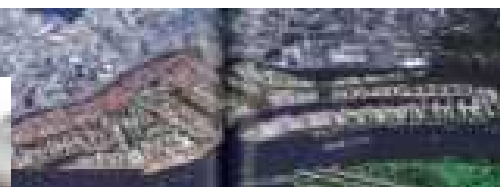
1997年に開発が確定し、約25年にわたる開発が始まった。

まちづくり(再開発)が市民にとって、より身近なものになり、市民自らにとって関係のある開発であることを浸透させるために都市情報センターを中心としたコミュニケーションを行っている。

「都市情報センター」。年間20万人が来訪。

ボイラー倉庫をコンバージョンしたスペースには、8×4メートルの1/500模型、多様な展示物や展示手法、ディスカッション等も定期的を開催。

カフェが併設され、来訪者の憩いの場となっている。



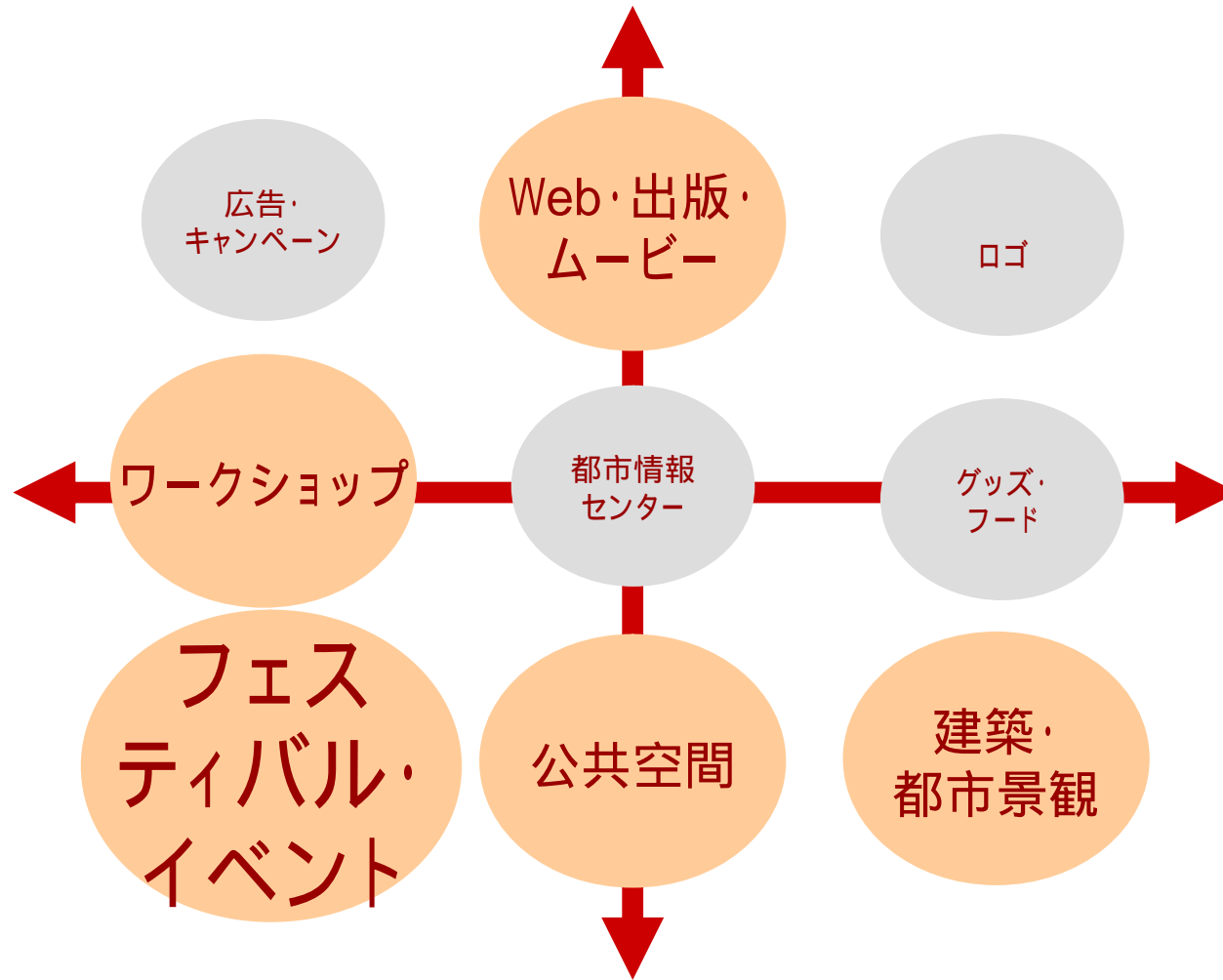
Hafencity, Hamburg (Germany)

工事現場を眺めるための展望台は、来訪者に人気があり、開発工事の進展に応じて移設されることが計画されている。開発現場ガイドツアー、自転車によるツアー、オープンスペースでのイベントなども開催される。



London

ロンドン(英国)



London (UK)

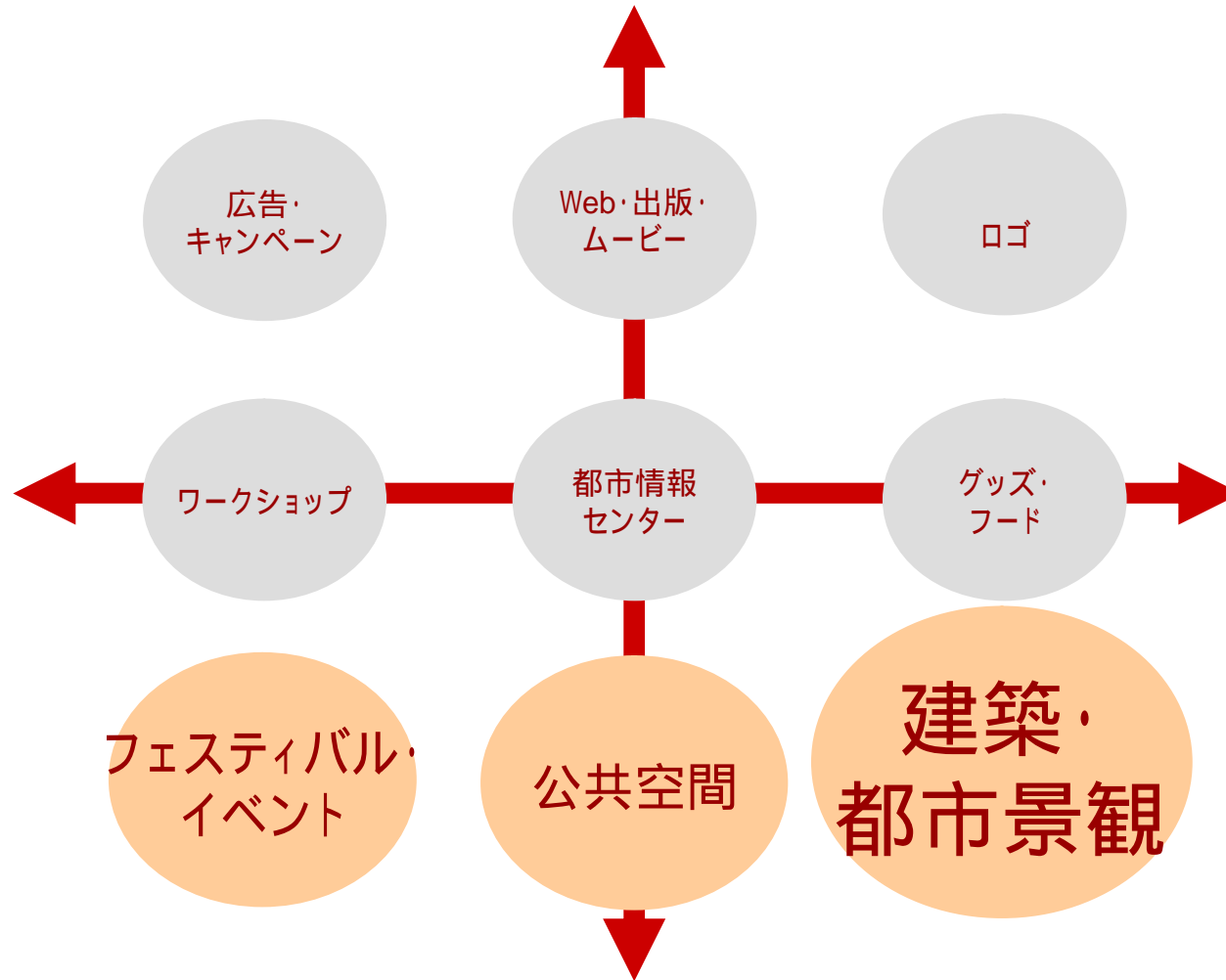
毎年9月第一週末に開催されるOpenhouse Londonでは、市内の新旧様々な600以上の建築物(オフィスビル, 個人住宅, 工事現場など)が無料で一般公開される。

子供用のプログラムを含む様々なイベントも行われ、このイベントによって建築、公共空間、都市デザインへの理解を促し、豊かな建築資源を都市の自信とアイデンティティに繋げる。



Nantes

ナント(フランス)



Nantes (France)

フランスで6番目の規模の都市ナントは、後にエロー方式とまで言われるに至った、ジャン・マルク・エロー市長による文化芸術振興を軸に大胆な都市再生を実践している。そのため、フランス国鉄、郵政公社などの部門移転もあり、人口、雇用ともに増加し、再生に成功した都市として有名。



Nantes (France)

今や全世界で人気を博している「Royal de Luxe」が本拠地を構えていることでも有名。2007年に「Royal de Luxe」のアトリエ部門「Les Machines」のテーマパークがオープンした際には、市民全員で祝った。



シビックプライド研究会

伊藤香織 (東京理科大学理工学部建築学科 准教授)

紫牟田伸子 (日本デザインセンター チーフプロデューサー)

太田浩史 (建築家, 東京大学生産技術研究所 講師)

武田重昭 (兵庫県立 人と自然の博物館 研究員)

松田朋春 (Spiral/ワコールアートセンター チーフプランナー)

榎本元 (読売広告社 都市生活研究所)

太田あゆみ (読売広告社 都市生活研究所)

田井中慎 (4CYCLE)

韓亜由美 (スタジオハンドデザイン 代表取締役)

東京理科大学伊藤研究室



刊行中

シビックプライド

都市のコミュニケーションをデザインする

伊藤香織 + 紫牟田伸子 (監修)
シビックプライド研究会 (編)

企画: 読売広告社

出版: 宣伝会議

ISBN 978-4-88335-208-1

2008年11月28日

自分の住んでいる街について
想いを巡らせてみましょう。

Thank you!